

鳥取ふれあい共生ホーム

てるひ

照陽の家だより

平成31年 1月15日

〒683-0812

米子市角盤町3-124-3

TEL 0859-21-8151

あけましておめでとうございます。

昨年中はお世話になりました。本年も宜しくお願いします。

昨年は2月の北陸豪雪災害に始まり6月の大阪北部地震、7月には西日本豪雨災害など休む暇もないほど災害に見舞われた年でした。昨年の漢字は「災」との事、次々に到来する災害に日本中が疲弊する中、私たちを励まし勇気を与えてくれたのはスーパーボランティアの尾畠春夫さんでした。損得の何もない一貫したボランティア人生。清々しさに圧倒されました。今後の計り知れない環境変化が世界を襲う時代にどう対応していけば良いのか、尾畠さんの生き様、考え方がその方向を示しているように実感します。改めまして被災された皆様にはお見舞い申し上げますと共に本年が少しでも幸多き一年となりますことお祈り致します。そして照陽の家は本年もまた共生ホームとして、また地域密着型施設として地域の皆様との交流、ご支援のもと、住み慣れた地域やご自宅でご自分らしく生活される方々を全力で支援して参ります。何卒宜しくお願い致します。

照陽の家 職員一同

照陽の家の日常とひなたほっこ保育園



ペンで絵を描いたりシールを貼ったりしてたこを作りました☆ふれあいの里に行き、広い所でたこあげ！頑張って走らないと飛ばないですね(笑) 立町の一銭屋に行き昔の事を話しながら駄菓子を買いました。



照陽の家には訪問看護ステーションハートケアがあります。

訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し、看護ケアを提供し、療養生活を支援するサービスです。

作業療法士のリハビリメモ

リハビリ紹介 「関節可動域訓練」 作業療法士 岡野元明

明けましておめでとうございます。寒い日が続いていますがみなさんいかがお過ごしでしょうか？今回は普段やっているリハビリの中から関節可動域訓練についてご紹介したいと思います。よくリハビリスタッフが対象の方の手や足を持ってマッサージのように動かしているところをみかけると思います。あれは関節可動域訓練(ROMエクササイズ)と言って筋緊張を緩和したり、拘縮予防のために行っているものです。しかしそれだけではなく大事なことは対象の方の身体に触らせて頂き交流することにあると思います。リハビリという中で身体を触りながら交流することは対象の方との対人関係における距離を縮めることや目で見て口、身体を動かすことで血流をよくしたりと本来の目的とはまた違う良い効果もあると日々実感しています。実際に手が冷たい利用者さんに声を掛けながらそっと手を添えて撫でてあげるだけで表情、肌の色が良くなったりとすることがあります。ぜひみなさんもこの寒い季節、お近くの方に手を添えてみてはどうでしょうか。

今月の言葉

～葉 祥明～

とにかく 疲れたら 一人になり 静かにしていなさい しばらくすると
あなたは自分を取り戻し 疲れはあなたから 去っていく さあ、また 頑張ろう！



勝田神社とんどさん



安来節演芸館にて



お正月のおとそ



ハンドベル拝聴



歩行リハビリ

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。

